

# AL-QAEDA

ビンラディンと国際テロネットワーク

ジョンソン・バーグ

19078115 | 劔日向

## アルカイダとは何か

- 現存するアルカイダとは、拡大し多様化した戦闘的イスラム過激派の運動
- アルカイダは何万人もの人間を包括
  - • 個人やグループで参加
    - 人々は活発に運動に参加、または運動から離去
    - • こうして人員は交代、運動は成長
- **ウサマ・ビンラディンが創出したものでもないし、彼の死や監禁が運動を停止するものではない**

## ビンラディンの目的

- **ビンラディンが1996年から要求している事柄**
- **1. サウジアラビアからのアメリカ軍の撤退**
- **2. 母国の税制、通貨、保健衛生の改革**
- **3. イラク制裁の解除**
- **4. パレスチナ、チェチェン、カシミールの人民弾圧の停止**
- **思想や目的は宗教的なものでなく、政治的なものが主**

9.11

- **ビンラディンはアメリカを強く非難**
- **理由：**
  1. **第二次世界大戦における原子爆弾の使用**
  2. **大量破壊兵器の開発継続**
  3. **「人権」の侵害**
  4. **イスラエル支援**
  5. **京都議定書への調印拒否**
- **狂信的な反米主義 → 「9.11」に発展**

## ビンラディンの生い立ち

- 1957年リヤドにて出生
- 家は裕福



- 幼少期、少年期からしっかりとした教育を受けており  
模範生
- 大学にて現代イスラム思想の急進派に触発

## 若き日のビンラディン

- ビンラディンが大学を卒業した1979年は、ムスリム世界を揺るがす出来事が相次いで発生
- 出来事：イランのイスラム革命
- ソ連のアフガニスタン侵攻
- 急進派によるメッカの大モスク占領
- これら出来事にビンラディンは触発
  - ➡ ソ連との戦争を支援するための資金集めに尽力

## 若き日のビンラディン2

- 1984年までは彼はペシャワルに滞在  
➡ アフガニスタンへのアラブ志願兵のためのオフィスを経営
- ビンラディンの組織づくりの第一歩
- このときはまだシャイで静かな若者
- 過激な思想の兆候



## ビンラディンに影響を与えた男

- アブダラー・アッザーム
- スンナ派のパレスチナ人の神学者
- ソ連によるアフガニスタン侵攻に対するアフガニスタン支援
- アフガニスタン支援の組織化の中心人物
- カリスマ的で博識、洗練された説教師






## ビンラディンに影響を与えた男2

- ビンラディンはパキスタンに移動後、すぐにアッザームに接触
- ビンラディンの持つエネルギーや管理能力、対人関係がアッザームの持つ、イスラム知識やカリスマを補完
- アッザームとビンラディンは中東全体に志願兵募集のネットワークを構築
- 非常に多くの志願兵がペシャワルに集結



## ビンラディン32歳の戦い

- 1986年、戦闘が激化しビンラディンも多くの作戦に参戦
  - 戦績を上げ知名度が高まり、**英雄視**
  - このころからビンラディンはアフガニスタンに移動
  - 1989年、アフガニスタンの戦争が下火に
-  ビンラディンはウンマを構成する国々にイスラム革命をもたらす運動を計画
- 目標：アメリカや西洋ではなく、ムスリム世界内部の「腐敗した偽善的な」政権の崩壊

## アルカイダの結成

- 運動を計画する上で集められた「アルカイダ」
  - このアルカイダは12人程度のグループで思想も曖昧、実務上の能力もゼロ
  - このようにビンラディンは1980年後半の急進的活動家の中では最も影響力のある人物ではなかった
  - このころは資金援助などの後方支援に徹底
- ➡ この時期ビンラディンに関する情報があまりない

## 反米

- 始まりは、1990年サウジアラビアの米軍駐留
  - ➔ 1991年、これに反発していたビンラディンを追放
    - ➔ アフガニスタンに亡命し、スーダンに移動
- スーダンにて民族イスラム政権と同盟
  - ➔ 国際的テロ組織に発展
- 1993年、ニューヨークで世界貿易センタービル地下爆破テロ
  - ➔ ビンラディンが関係のあるテロリストによるもの

## テロ

- 1996年、ビンラディンは最初の「ファトワー（布告）」を発信

内容：「2つの聖なるモスクの地（サウジアラビア）の占領者」であるアメリカに対して「ジハード」を宣誓

- 1997年、ジハード団の指導者であったアイマン・アルザワヒリが合流

➡ アメリカに対するジハードを共に提唱



## テロ 2

- 1998年には、ケニアとタンザニアにあるアメリカ大使館がアルカイダによって爆破
- ➡ 1999年FBIはビンラディンを大使館爆破事件の容疑者として最重要指名手配犯に指定
- 2000年、アメリカのミサイル駆逐艦「コール」がアルカイダにより爆破
- 2001年、**9.11同時多発テロが発生**



## 結論

- 全てのテロがビンラディンが計画して起こしているわけではない
- ビンラディンの思想に共感し自発的に起こす者がいる  
→ 誰でもテロリストになりうる
- 脅威は一人の人間一つの組織からくるものではない
- テロリストの行動を正当化することはできないが、理解する努力をしなければならない